2027年3月期

第2四半期決算説明会

2026年11月5日

ヤマハ株式会社



決算発表のポイント

決算概要

【27/3月期 上期実績】

・対前年増収増益

・売上収益は、電子楽器を中心に楽器の販売が伸びたことに加え、為替の円安も後押し

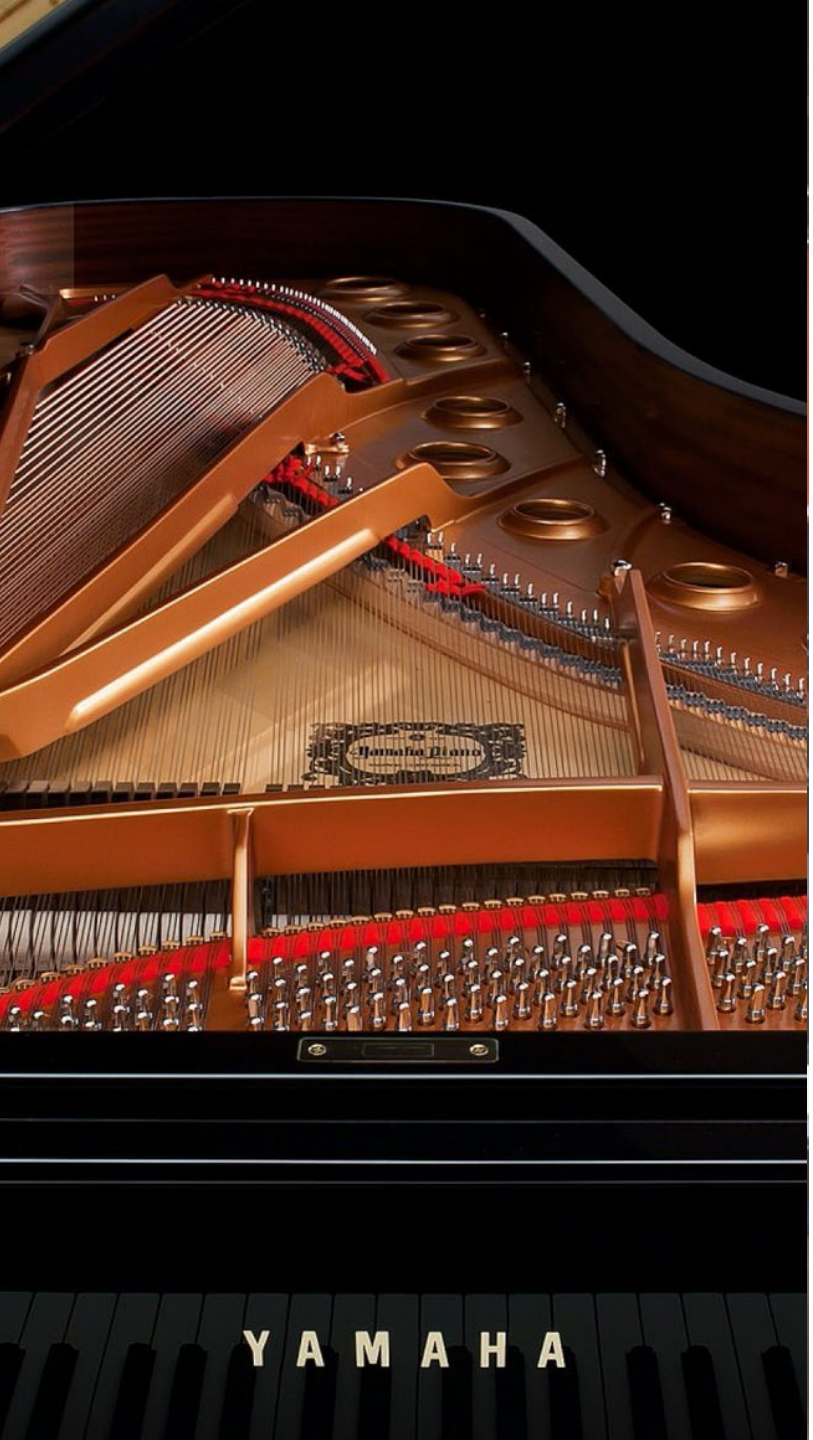
・事業利益は、調達コストアップを価格適正化で吸収し、実質増収、モデルミックス改善に加え、構造改革効果、為替影響等も寄与

業績予想

【27/3月期 通期予想】

・欧州・中国の景気低迷、コンシューマー音響機器等の需要の弱さを踏まえ
売上収益は期初予想（2026年5月）を据え置く

・事業利益は、調達コストアップを価格適正化で打ち返し、為替の円安等を加味して
期初予想から20億円増を見込む



1. 決算概要

業績概要

（億円）

	26/3	27/3	前期比	
売上収益	2,164	**2,379**	215	+9.9%[*2]
事業利益 （事業利益率）	128 (5.9%)	**223** **(9.4%)**	95	+74.2%
当期利益[*1]	98	**187**	89	+91.4%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

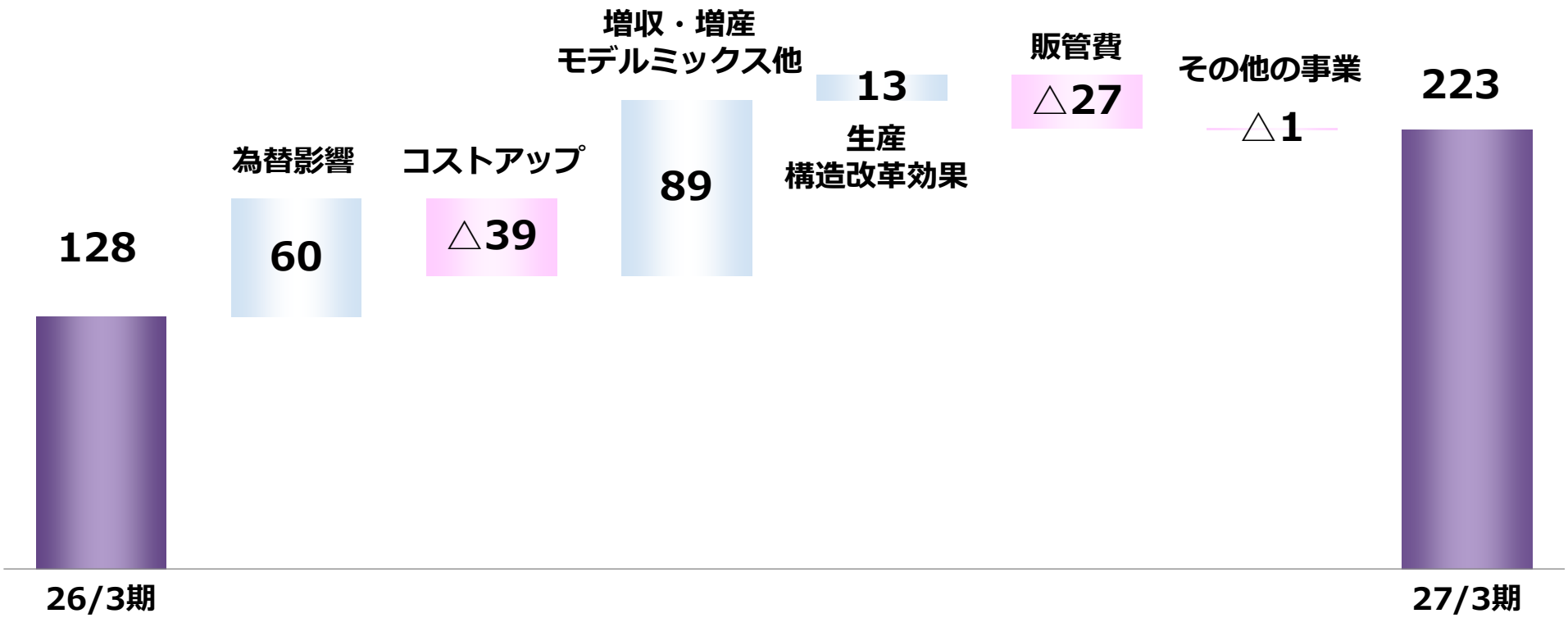
為替レート（円）		
US$	146	**161**
EUR	167	**185**

[*2] +2.2%
(為替影響除く)

事業利益増減要因

前期との比較

（億円）



事業別業績

（億円）

		26/3	27/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	1,404	1,595	191	118
	事業利益	77	154	77	47
	事業利益率	5.5%	9.6%	+4.2P	
音響機器事業	売上収益	677	708	31	46
	事業利益	54	70	16	10
	事業利益率	7.9%	9.9%	+1.9P	
その他の事業	売上収益	83	76	△7	3
	事業利益	△3	△1	2	3
	事業利益率	△3.2%	△0.9%	+2.3P	

通期業績予想

（億円）

	26/3	27/3 (前回予想)	27/3 (今回予想)	前期比	前回予想比
売上収益	4,653	**4,900**	**4,900**	247 *2	0
事業利益	319	**380**	**400**	81	20
（事業利益率）	(6.9%)	**(7.8%)**	**(8.2%)**		
当期利益 *1	237	**310**	**310**	73	0

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 +1.5%
(為替影響除く)

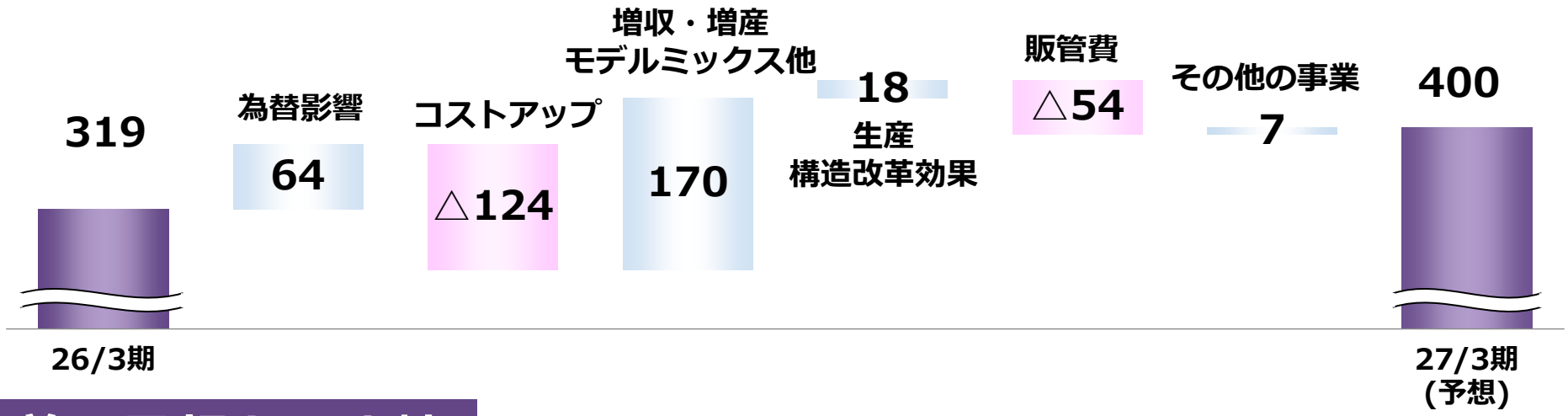
為替レート（円）				1円変動による影響額	
US$	150	**155**	**158**	売上収益	約9.0億円
				利益	約1.1億円
EUR	173	**180**	**183**	売上収益	約6.2億円
				利益	約4.0億円

※下期の為替前提は、US$155円、ユーロ180円

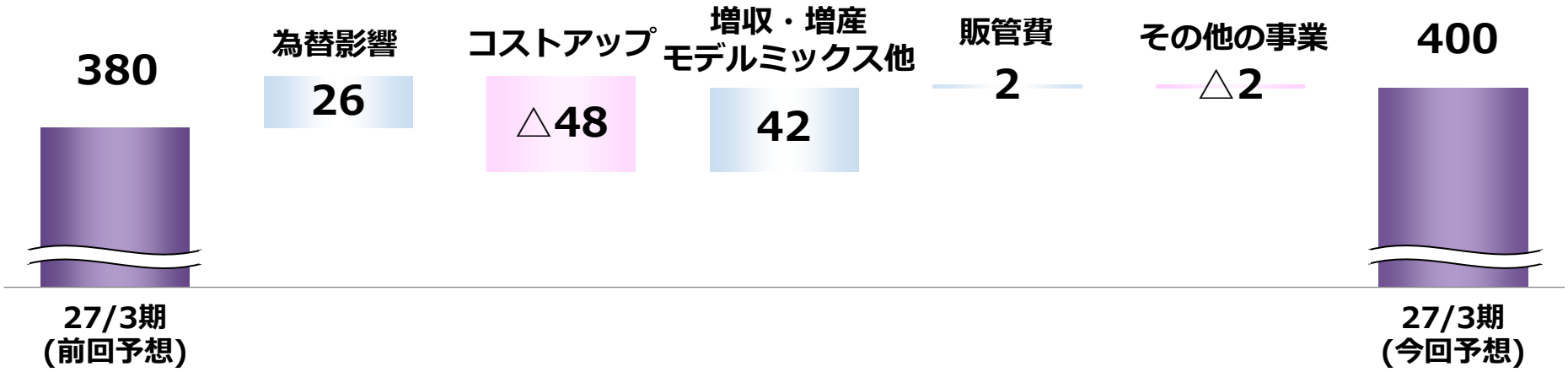
事業利益増減要因

前期との比較

（億円）



前回予想との比較



事業別業績予想

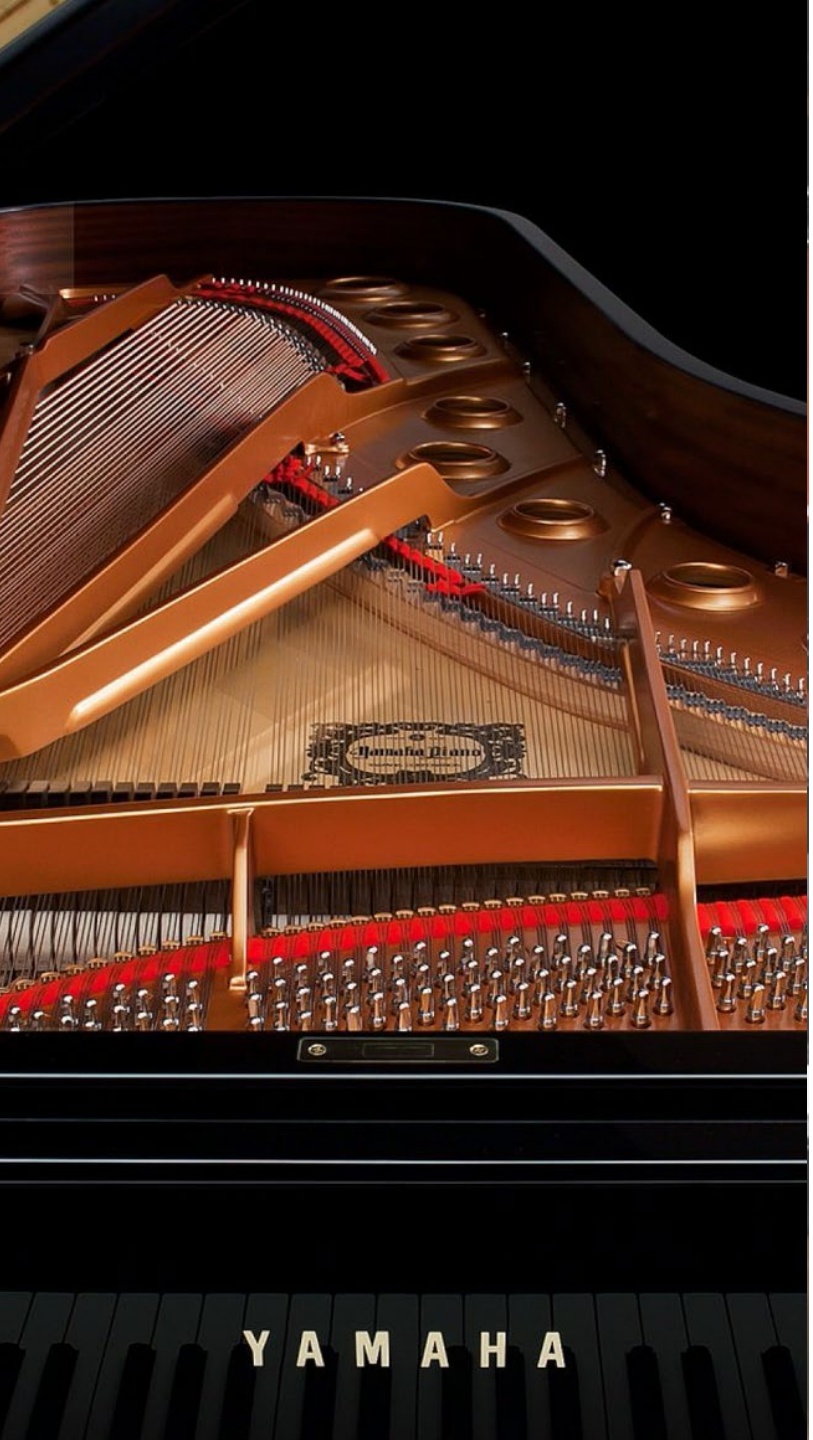
（億円）

		26/3	27/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	3,049	3,220	171	126
	事業利益	212	265	53	51
	事業利益率	7.0%	8.2%	+1.3P	
音響機器事業	売上収益	1,424	1,500	76	47
	事業利益	108	125	17	9
	事業利益率	7.6%	8.3%	+0.8P	
その他の事業	売上収益	180	180	0	3
	事業利益	△1	10	11	3
	事業利益率	△0.6%	5.6%	+6.2P	

事業別業績予想・前回予想比

（億円）

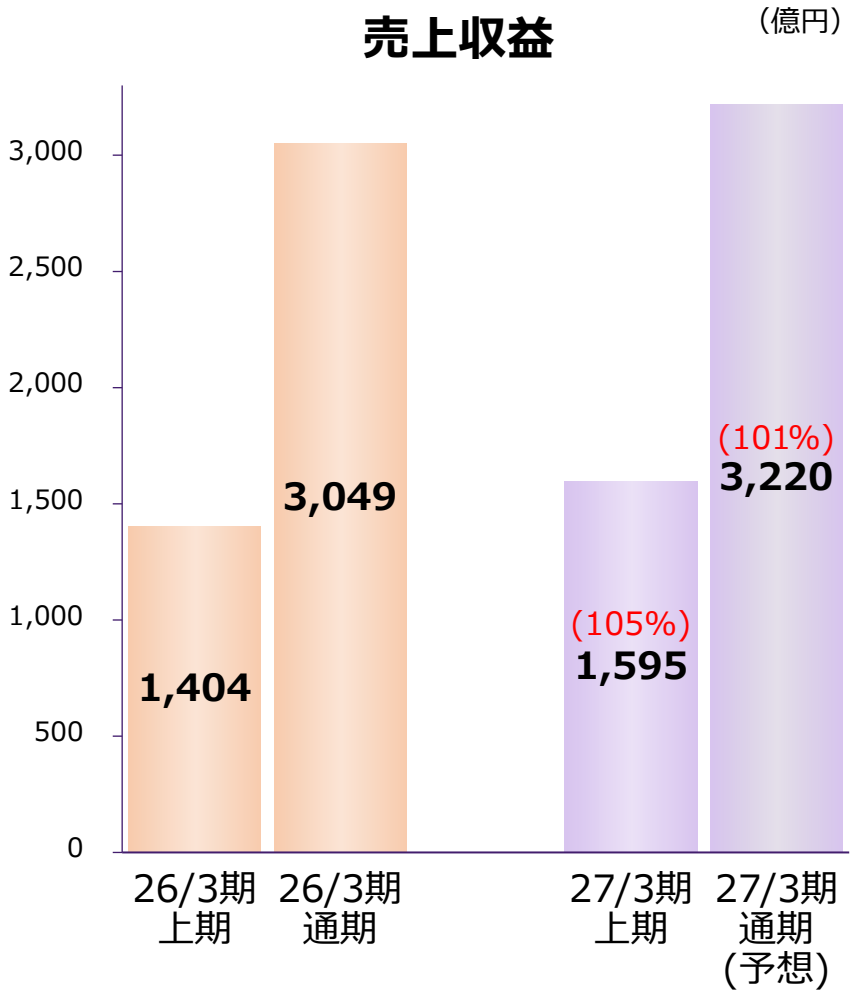
		27/3 (前回予想)	27/3 (今回予想)	前回予想比	為替影響
楽器事業	売上収益	3,220	3,220	0	57
	事業利益	240	265	25	24
	事業利益率	7.5%	8.2%	+0.8P	
音響機器事業	売上収益	1,500	1,500	0	19
	事業利益	130	125	△5	1
	事業利益率	8.7%	8.3%	△0.3P	
その他の事業	売上収益	180	180	0	1
	事業利益	10	10	0	2
	事業利益率	5.6%	5.6%	0P	



2. 事業別概要

売上収益・事業利益

売上収益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[上期状況]　ピアノを除く全カテゴリー増収

- ピアノは需要低調で減収、電子楽器は新商品が寄与し2桁成長、管弦打楽器は需要が安定的に堅調で増収、ギターも需要堅調で中国を除く全地域増収

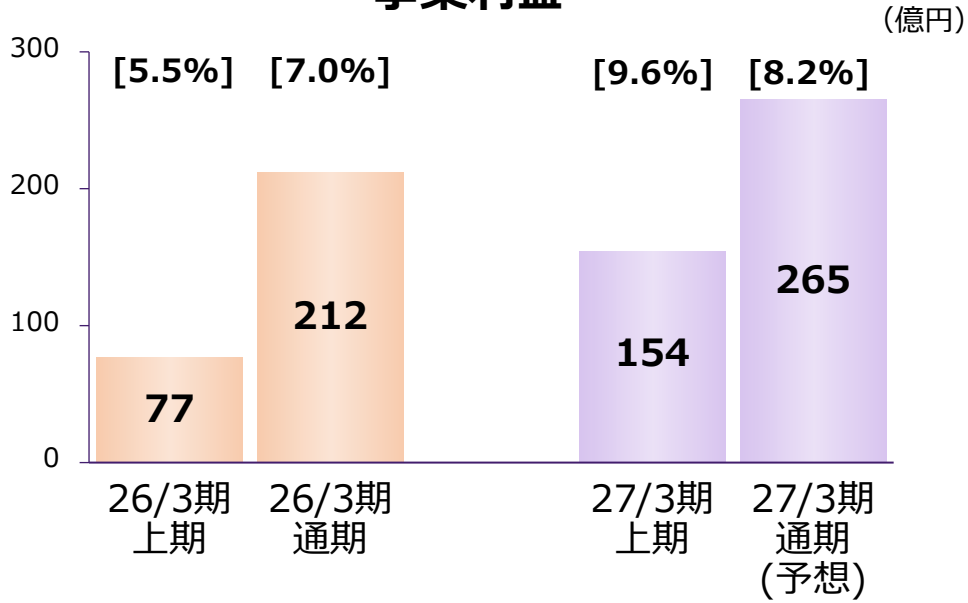
[通期見込]　電子楽器が牽引し増収を予想

- ピアノは個人需要弱く減収、電子楽器は新商品投入でトップシェア*堅持し増収、管弦打楽器は需要堅調継続し増収、ギターは前年並みを予想

*ヤマハ調べ

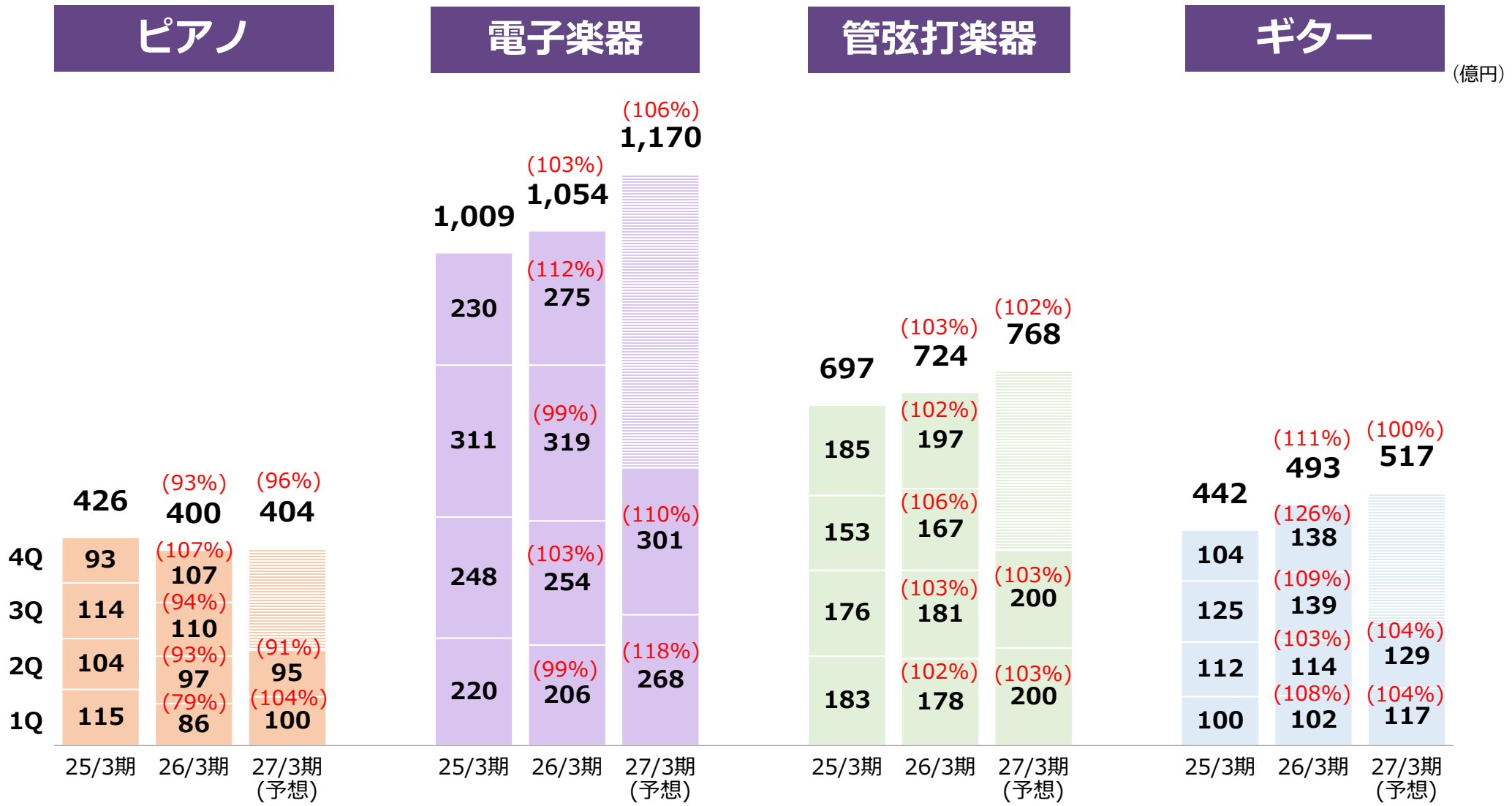
(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



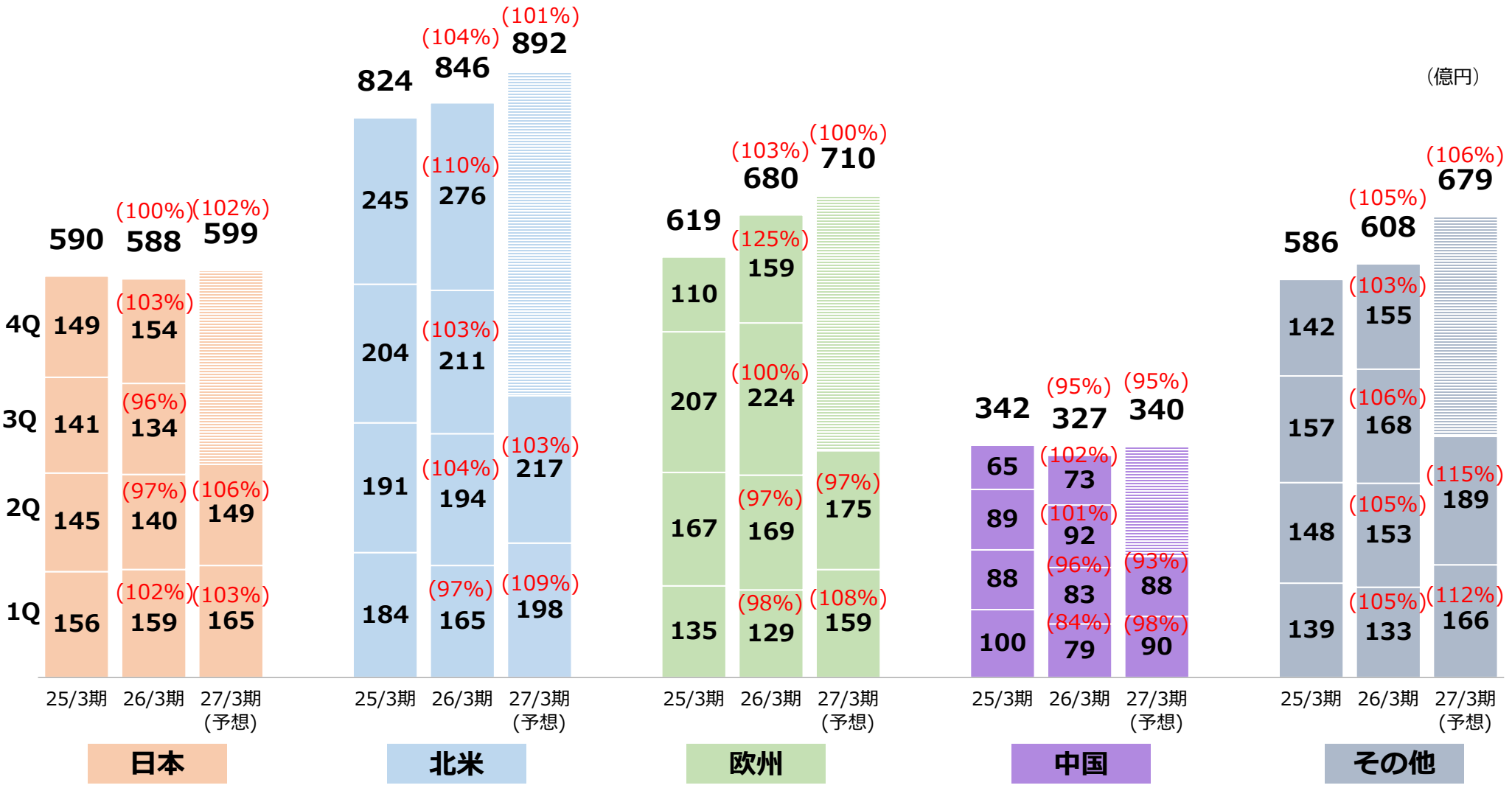
[ ]内は事業利益率

主要商品 販売状況



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別 販売状況



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※ソフト、音楽教室等を含む

期待の新商品

ピアノ



グランドピアノ
GCB
2026年9月発売

ヤマハ最小サイズ。日本生まれの確かな表現力を最も身近にするグランドピアノ

電子楽器



ポータブルキーボード
PSR-SX620
2026年10月発売

演奏者の自由な表現と本格的な音楽制作が楽しめる、多彩な機能を備えた国内フラッグシップモデル

管弦打楽器



デジタルサックス
YDS-152　YDS-122
2026年12月発売

アコースティックとデジタルの技術と造形を融合し、サクソフォンならではの表現力と静音性を両立。音色のバリエーションを拡充し、より幅広い演奏表現を実現したスタンダードモデルとエントリーモデル

ギター

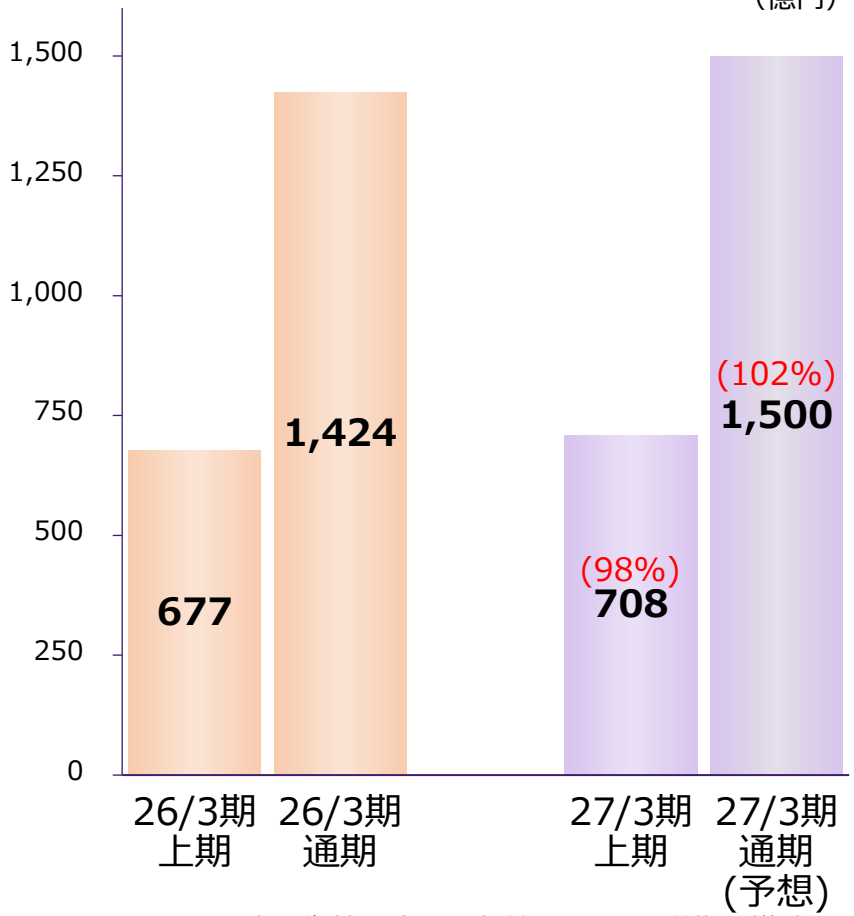


アコースティックギター
FG7/FS7シリーズ
2026年10月発売

シンガーソングライターの演奏表現を支える新たなハイエンドモデル

売上収益・事業利益

売上収益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

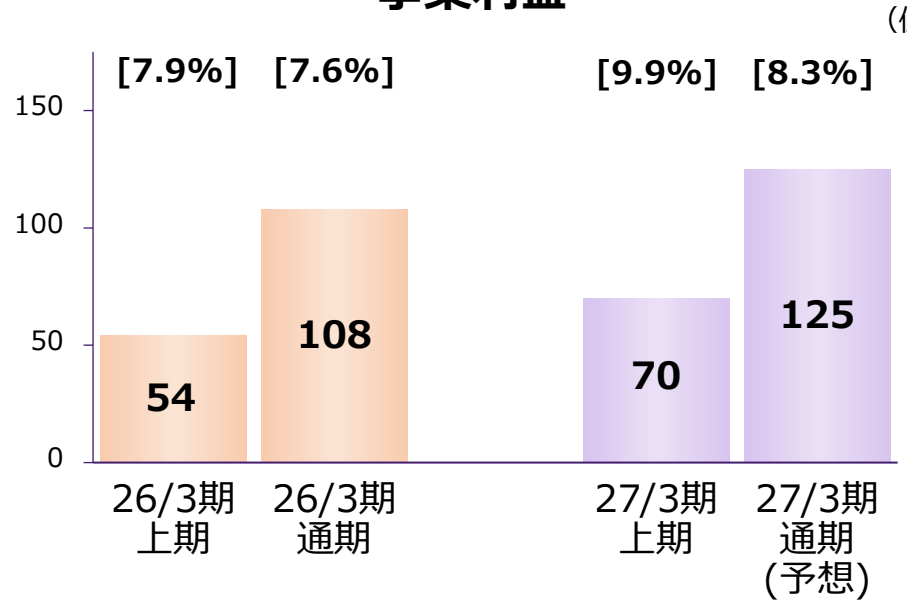
[上期状況] プロフェッショナル音響機器回復も コンシューマー音響機器軟調

- コンシューマー音響機器は各地市況弱く減収
- プロフェッショナル音響機器は日米市場復調し前年並み
- モビリティ音響機器は中国以外の地域の成長が続き2桁増収

[通期見込] プロフェッショナル、モビリティ音響機器が伸長し増収を予想

(増減収はすべて実質ベース)

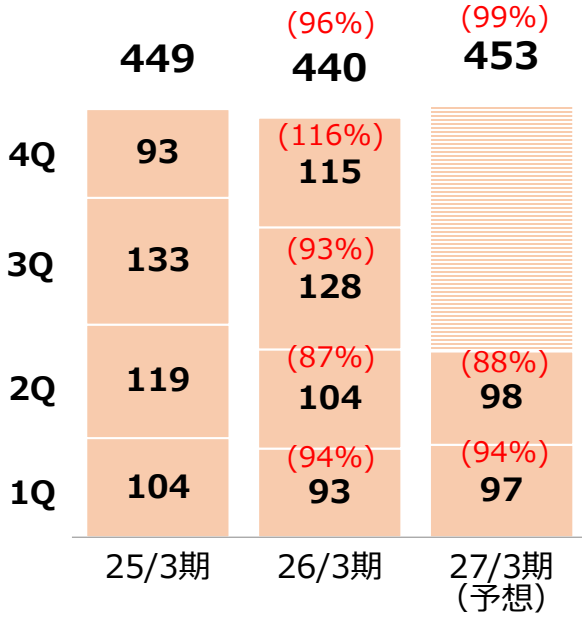
事業利益



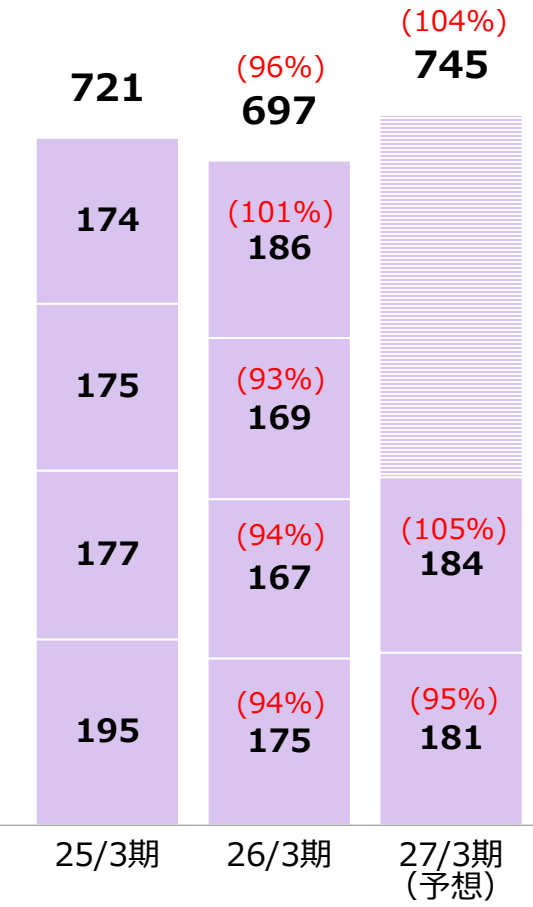
[ ]内は事業利益率

主要商品 販売状況

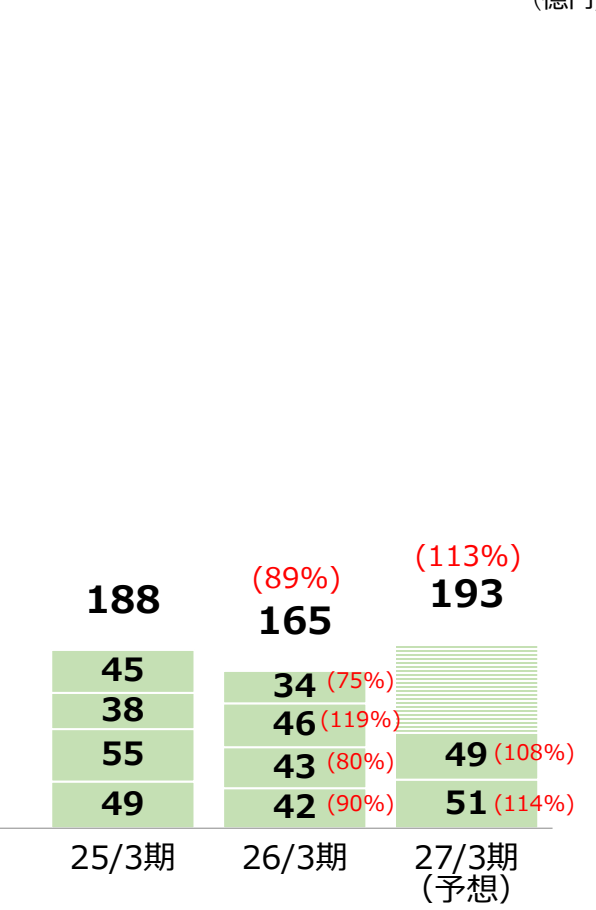
コンシューマー音響機器



プロフェッショナル音響機器

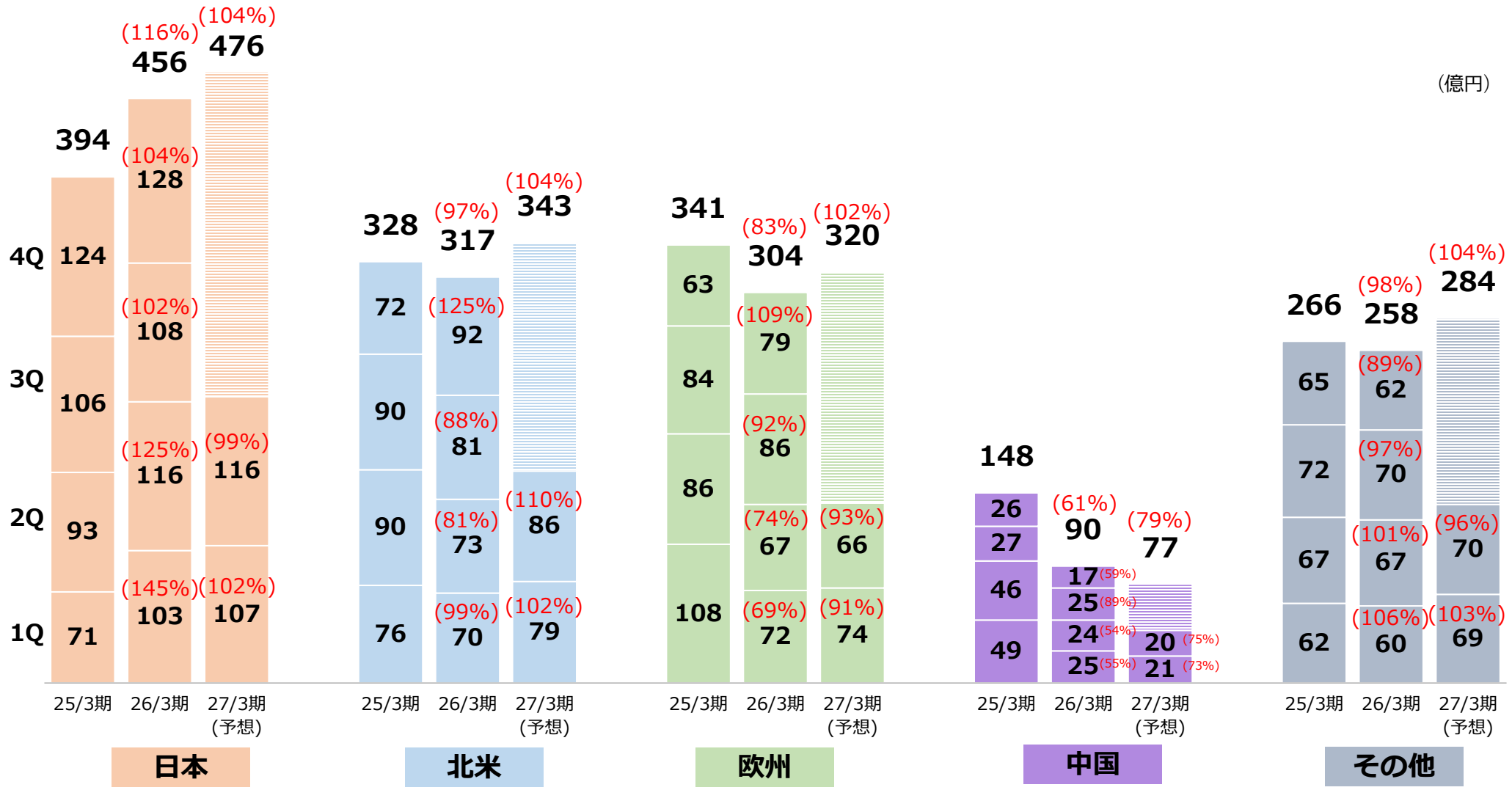


モビリティ音響機器



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別 販売状況



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

期待の新商品

コンシューマー音響機器



ステレオレシーバー
R200A
2026年11月発売

ヤマハ伝統の高音質技術と設計思想を継承。HiFiオーディオの世界を気軽に楽しめるエントリーモデル

プロフェッショナル音響機器



デジタルミキサー
DM5シリーズ
2026年11月発売

優れた音質と直感的な操作性、そしてプロフェッショナルなコントロール性能をコンパクトに凝縮したデジタルミキシングコンソール

モビリティ音響機器



画像提供：三菱自動車

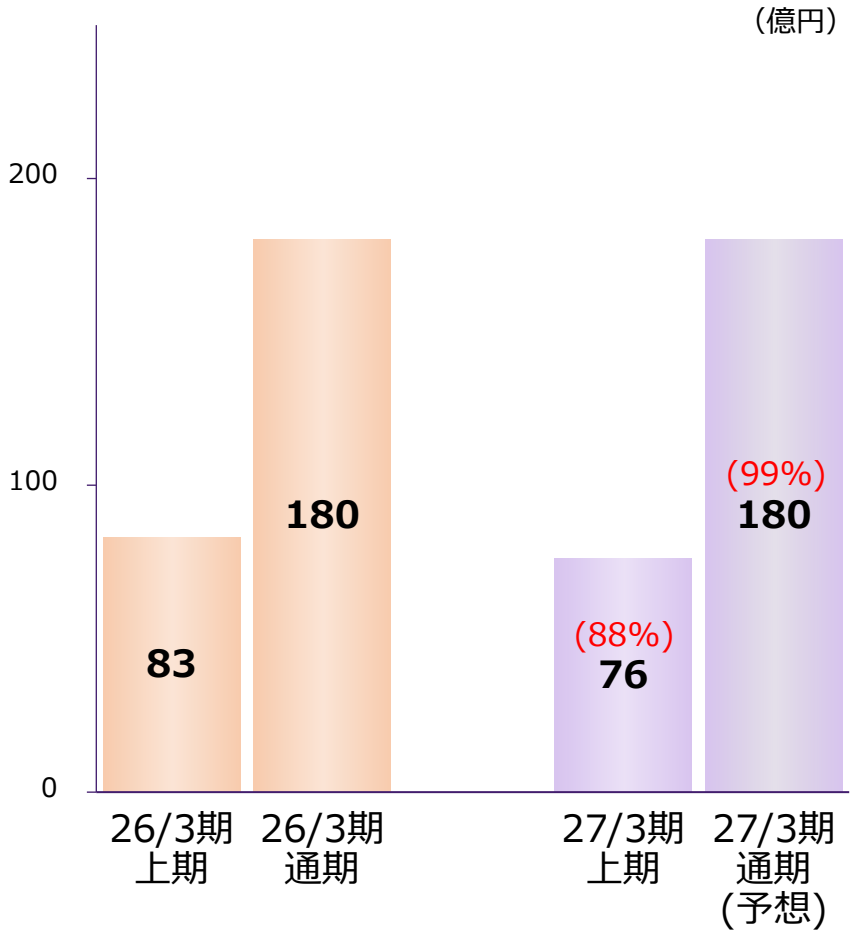
ブランドオーディオ

2026年12月発売

三菱自動車工業株式会社の新型クロスカントリーSUV パジェロの新型モデルに採用。ヤマハと三菱自動車が共同開発した音質へのこだわりを追求したプレミアムオーディオシステム Dynamic Sound Yamaha Ultimateを搭載

売上収益・事業利益

売上収益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[上期状況]

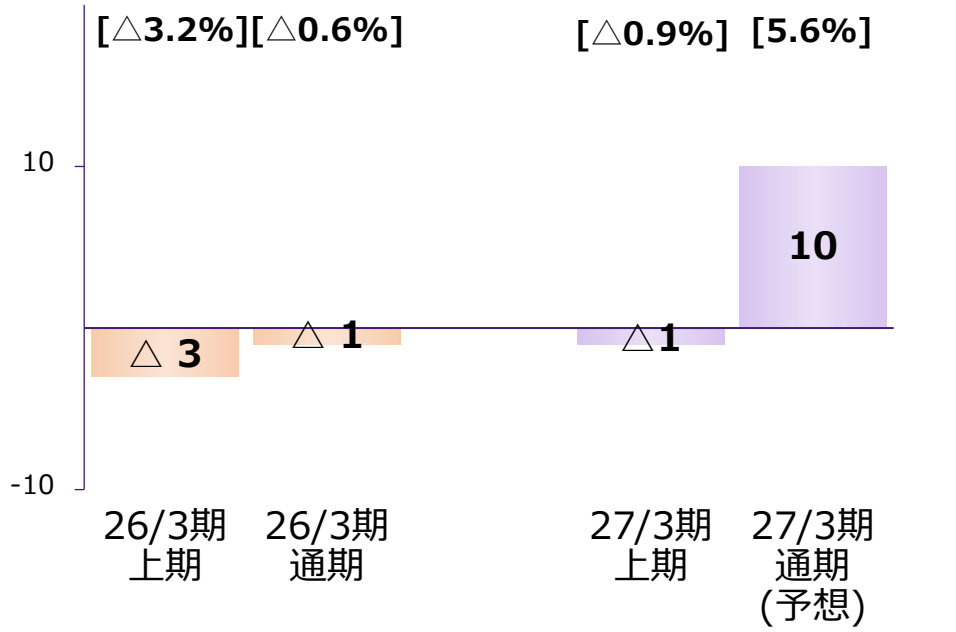
・FA機器復調も自動車用内装部品は減収

[通期見込]

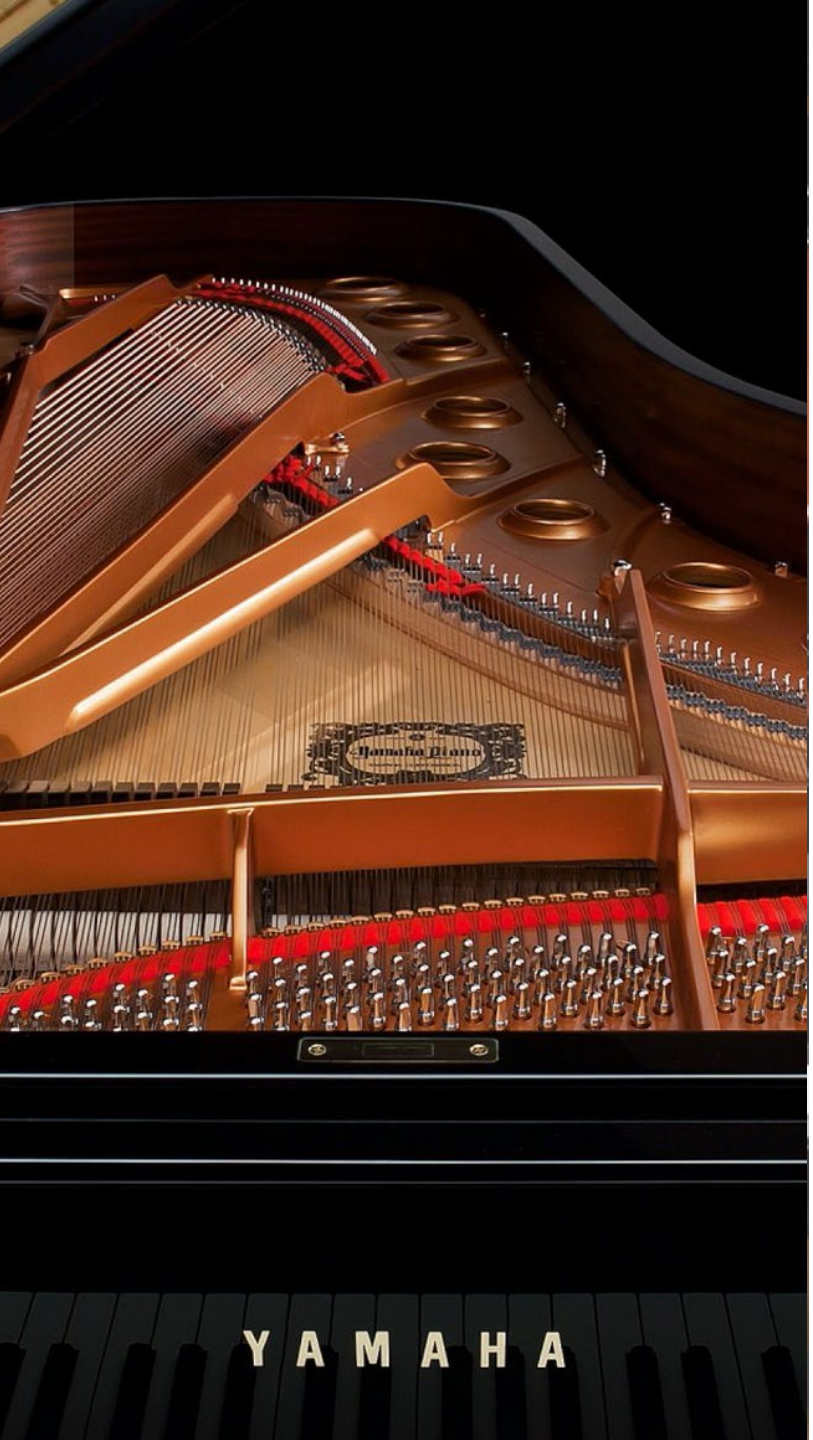
・FA機器が伸長するも、ゴルフ用品販売終了により減収を予想

（増減収はすべて実質ベース）

事業利益



[ ]内は事業利益率



3. その他財務数値

貸借対照表

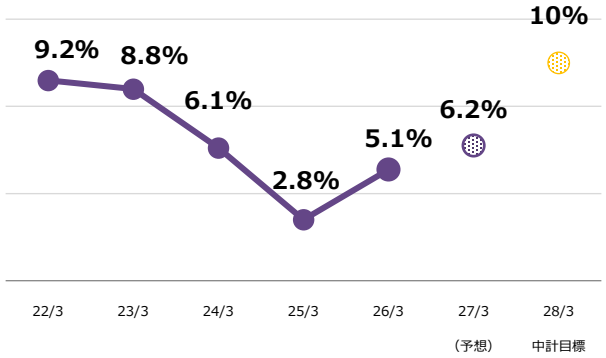
（億円）

	26/3末	26/9末	増減	27/3末（予想）
現金及び現金同等物	1,090	1,478	389	1,479
営業債権他	877	759	△118	845
その他金融資産	42	94	52	82
棚卸資産	1,523	1,633	110	1,580
他流動資産	118	77	△41	78
非流動資産	2,526	2,508	△18	2,545
資産計	6,176	6,549	373	6,610
流動負債	980	1,101	121	1,074
非流動負債	398	382	△17	382
資本計	4,797	5,066	269	5,154
負債及び資本計	6,176	6,549	373	6,610

ROE、ROIC、株主還元等

ROE　27/3期（予想） 6.2%

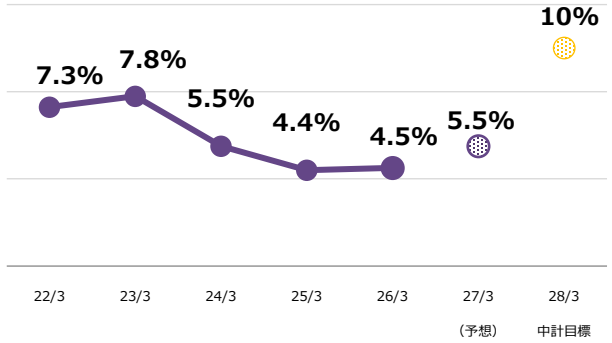
（株主資本コスト* 7.0%）*CAPMベース



Make Waves 2.0　Rebuild & Evolve

ROIC　27/3期（予想） 5.5%

（WACC 6.9%）



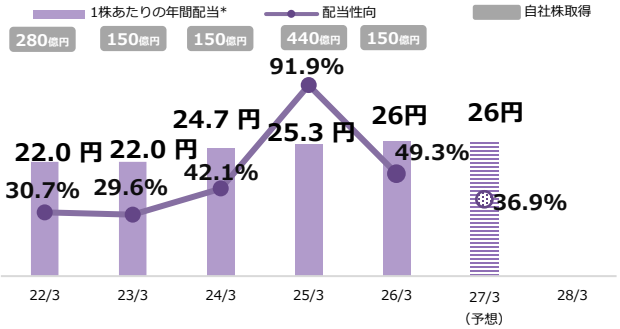
Make Waves 2.0　Rebuild & Evolve

ROIC＝税引後事業利益÷(親会社の所有者に帰属する株主資本＋有利子負債)

＜現状評価と改善に向けた方針＞

ROEは6.2%と依然株主資本コストを下回る見通し。引き続き収益性の改善および、株主還元の着実な実行により、株主資本コストを上回るROEを目指す。

株主還元

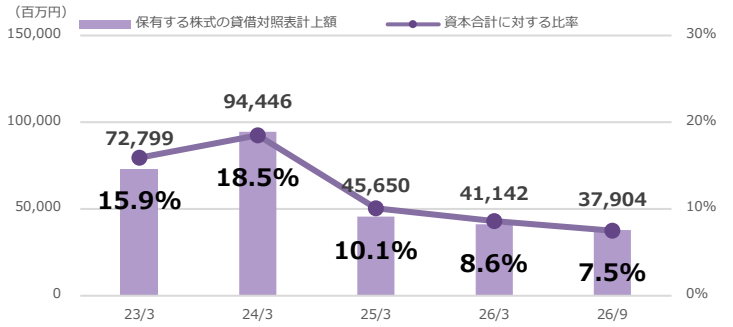


総還元性向	135.1%	目標 50%以上

Make Waves 2.0　Rebuild & Evolve

*2024年10月1日付で、1株につき3株の株式分割を行っています。
上記グラフは分割を考慮して1株当たり配当金を表示しています。

政策保有株式



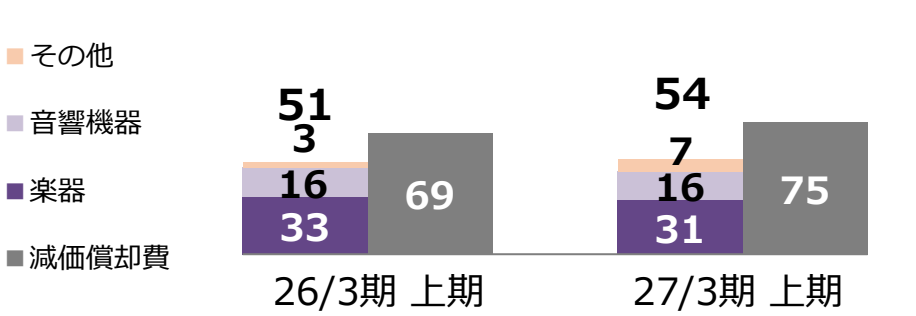
保有銘柄数**	8	7	6	6	6

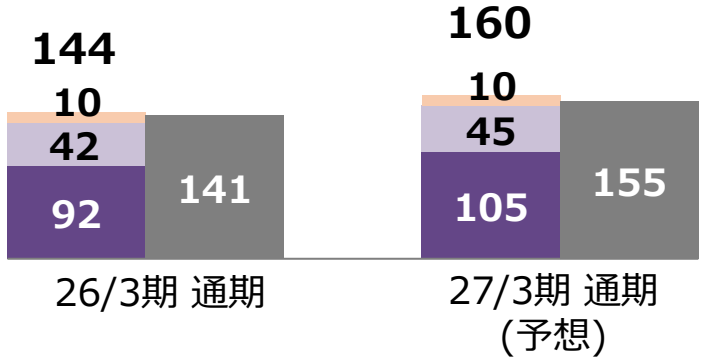
Make Waves 2.0　Rebuild & Evolve

設備投資額・減価償却費/研究開発費

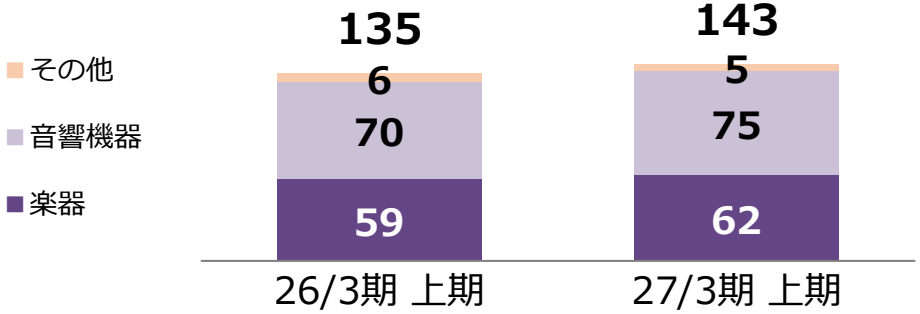
設備投資額/減価償却費

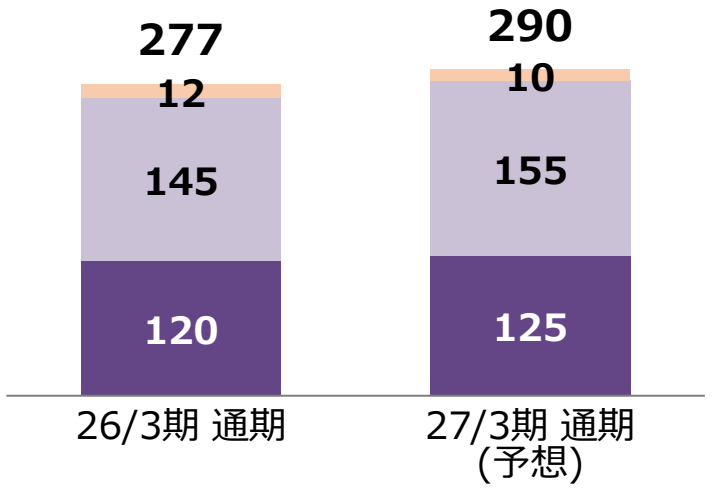
（億円）

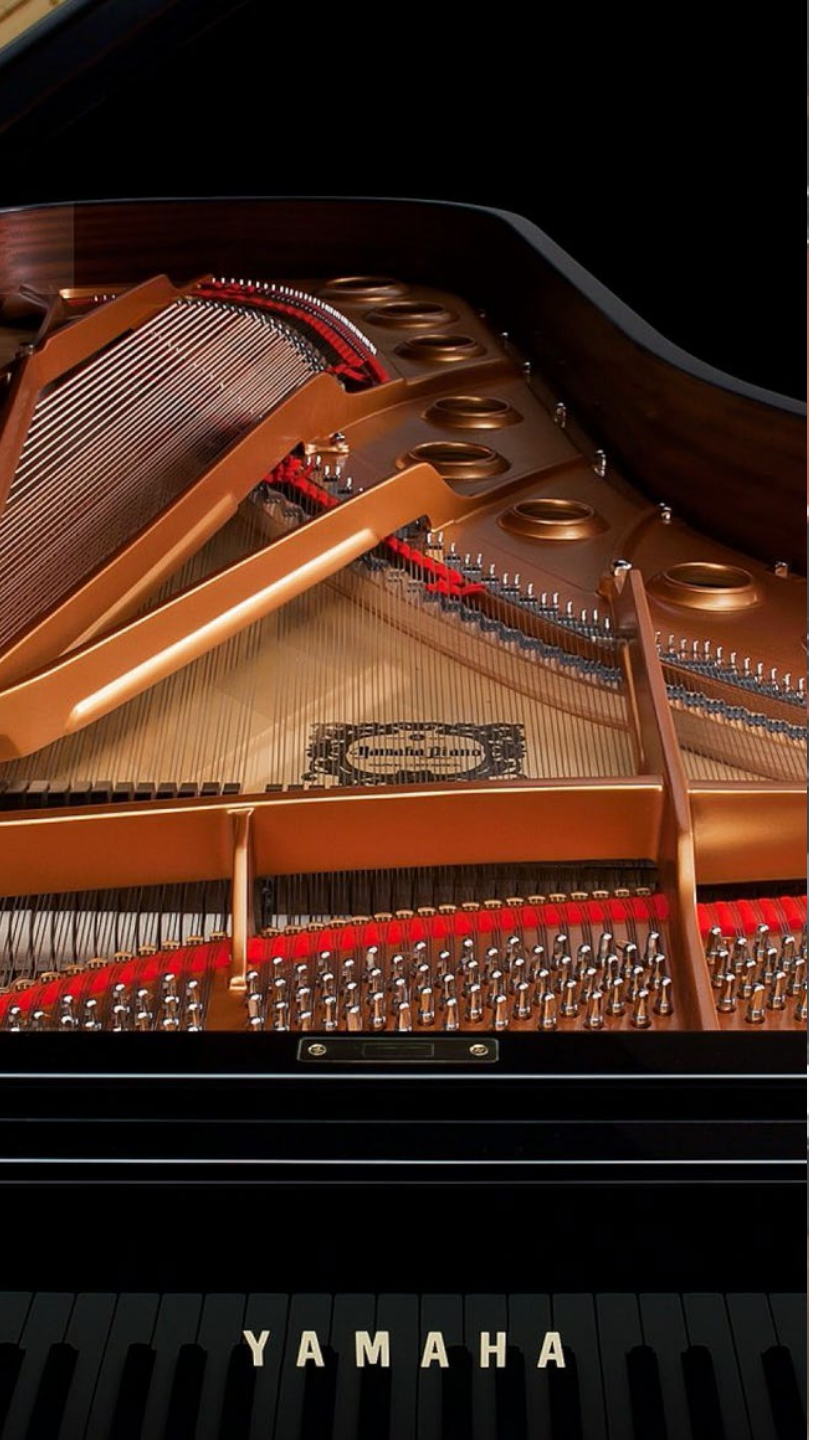




研究開発費







4. トピックス

中期経営計画 新商品・サービス

技術x感性で磨く本質的価値を追求した期待の新商品・新サービス

グランドピアノ

GCB

アップライトピアノ

Bシリーズ

エレクトーン
Electone STAGEA

ELS-03シリーズ

電子ピアノ
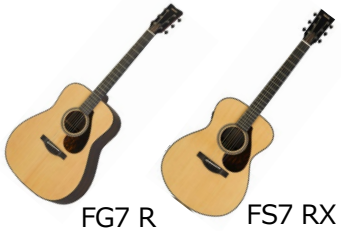
YDP-166/146

ポータブルキーボード

PSR-E483　PSR-SX620

デジタルサックス

YDS-152　YDS-122

アコースティックギター エレクトリック・アコースティックギター

FG7 R　FS7 RX

エレキギター
REVSTAR

マッテオ・マンクーゾ シグネチャー RS20MM

AVレシーバー

RX300A

HiFiコンポーネント
ステレオレシーバー R200A

コンパクトストリーミングアンプ WXA-70A　WXC-70A

音楽制作機器

MGX/URXシリーズ　CC1

デジタルミキサー

DM5シリーズ

PAスピーカー

DXR mk3/CXR mk3/ DXS mk3/CXS mk3シリーズ

音楽共創アプリ（先行版）


共創・参加型音楽サービス

SoundUD

東海道・山陽新幹線 Supreme Class Cabin向け インターホンシステム

中期経営計画　重点テーマ

強固な事業基盤の再構築

国内企業向けルーターで高いシェア維持

22年連続でSOHOルーター国内シェアNo.1*を獲得



* IDC Japan株式会社発表

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26082601/

未来を創る挑戦

車載オーディオの採用拡大

6社20モデルに搭載

三菱自動車 新型パジェロにヤマハブランドオーディオ搭載





画像提供：三菱自動車

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26102901/

サステナビリティを価値の源泉に

新興国の音楽教育普及の取り組み拡大

フィリピンでのスクールプロジェクトが着実に進展



ピアニカパイロット授業



教員研修

音楽体験機会を創出し音楽文化の裾野を拡大

ベトナム私立校にヤマハの音楽教育プログラム提供

Sedbergh Vietnamと業務提携



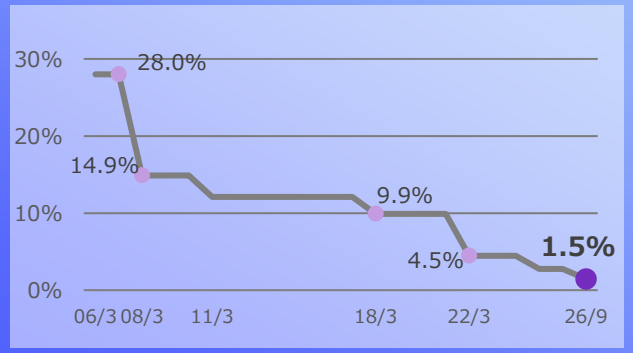
https://vn.yamaha.com/vi/news/2026/yamaha-va-sedbergh-vietnam-ky-ket-hop-tac-trien-khai-chuong-trinh-giao-duc-am-nhac-yamaha.html

経営基盤の強化

政策保有株式の縮減

保有するヤマハ発動機株式会社株式を一部売却（保有比率2.84%→1.46%）

ヤマハ発動機発行済み株式総数に対する当社の保有比率



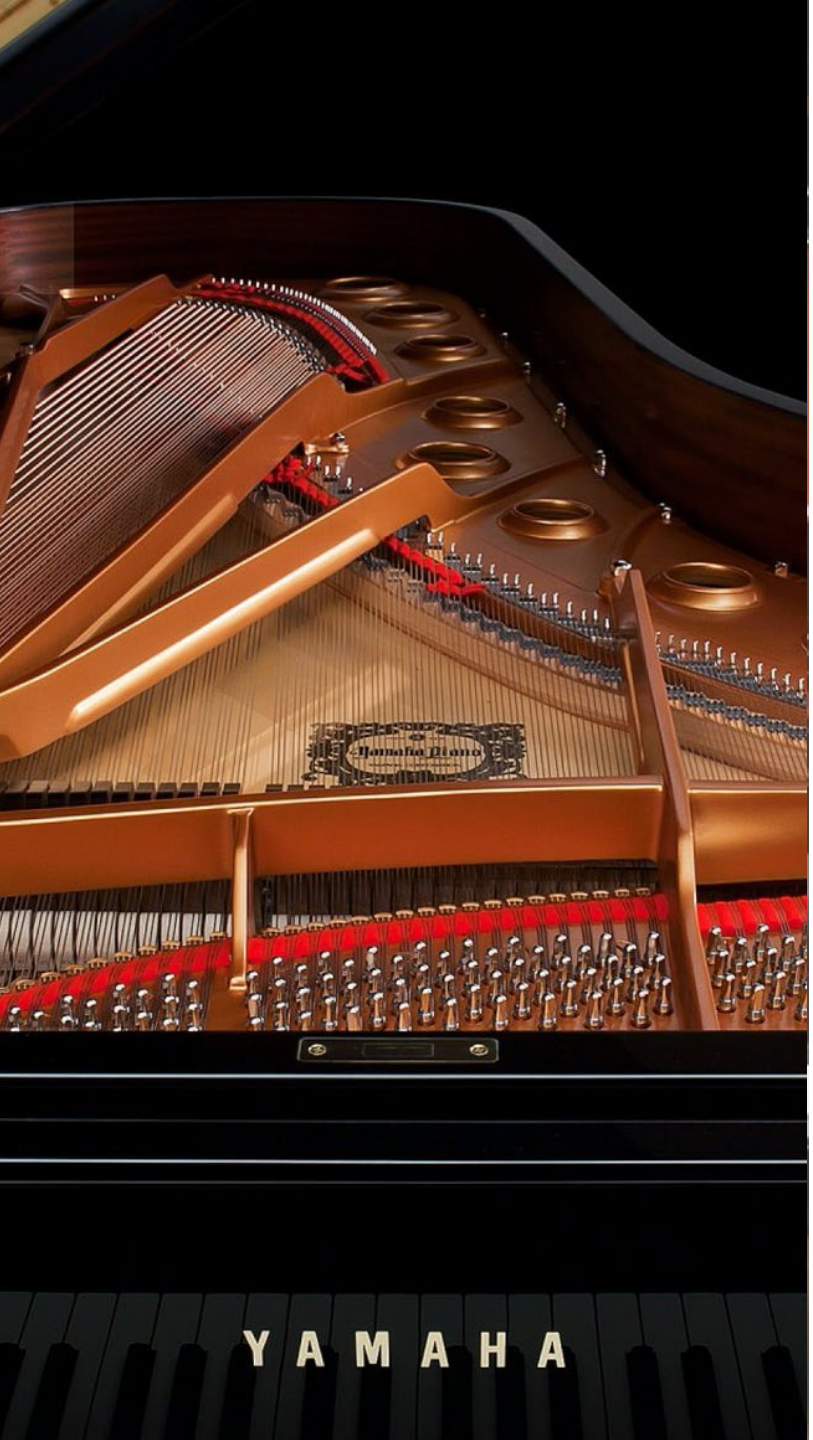
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26082702/

ステークホルダーエンゲージメント

統合報告書2026発行



https://www.yamaha.com/ja/ir/library/publications/



付属資料

2Q 業績概要

（億円）

	26/3	27/3	前期比	
売上収益	1,125	**1,215**	91	+8.1%[*2]
事業利益 （事業利益率）	81 (7.2%)	**130** **(10.7%)**	49	+60.5%
当期利益[*1]	74	**80**	6	+8.2%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 +1.6 %
(為替影響除く)

為替レート（円）		
US$	147	**161**
EUR	171	**185**

2Q 事業別実績

（億円）

		26/3	27/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	739	818	80	52
	事業利益	56	89	33	24
	事業利益率	7.6%	10.9%	+3.3P	
音響機器事業	売上収益	347	358	12	19
	事業利益	31	42	11	3
	事業利益率	8.8%	11.6%	+2.8P	
その他の事業	売上収益	39	39	△1	2
	事業利益	△5	△1	5	2
	事業利益率	△13.9%	△2.2%	+11.7P	

上期 その他収支等

（億円）

		26/3	27/3
事業利益		**128**	**223**
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	0	1
	その他	△4	44
	計	△3	45
営業利益		125	268
金融収支計	受取配当金	10	10
	その他	7	△15
	計	17	△5
税前利益		142	262
法人税等		△44	△75
非支配株主利益		0	0
当期利益*		**98**	**187**

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

通期 その他収支等

（億円）

		26/3	27/3（予想）
事業利益		319	400
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	7	2
	その他	△33	43
	計	△26	45
営業利益		293	445
金融収支計	受取配当金	16	15
	その他	44	△25
	計	60	△10
税前利益		353	435
法人税等		△115	△123
非支配株主利益		△1	△1
当期利益*		237	310

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、
ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、
この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。
従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、
米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、
これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。